

シュガーペイブ II・洗い出し基材施工要領

シュガーペイブ II

下地について

- 下地はコンクリート、セメントモルタルとし、表面を平らに仕上げたものとします。
- 下地には2%程度の排水勾配をつけてください。
- 下地は完全に乾燥させてください。湿っていると塗材のハガレ・フクレ（発泡）の原因となります。
- 下地表面のホコリ、ゴミ、土、レイトランス、油分などは完全に除去してください。
- 下地の不陸（凹凸）、欠損部、クラック等の不良下地は、あらかじめセメントモルタルなどで平滑に補修してください。不陸がある場合はフクレ（発泡）を生じることがありますので注意してください。
- 縁まわりは平タイル、コーナータイルなどで処理すると納まりがよく、美しく仕上がります。

施工手順

1 材料の準備

- 舗装用樹脂セットから主剤、プライマーを取り出します。
- 骨材は練り舟に移します。
- ※骨材は天然石の為、ロットにより多少色調が異なります。仕上がりが均一にする為、骨材どうしの空合わせを十分に行ってください。

●主剤の開封後、30~40分以内で早く作業を終了させてください。

2 プライマーの塗布



- プライマーをウールローラー、または刷毛で下地に均一に塗布します。
- プライマーはそのまま使用してください。水やラッカーシンナーなどを加えると発泡や硬化不良の原因になります。また、主剤と混合して使用しないでください。

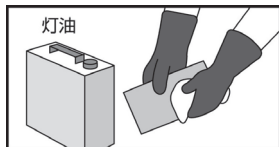
※必ず床面に使用し、主剤や骨材と混合して使用しないでください。
※足の裏にプライマーが付着し、周辺を汚してしまうことがありますので、養生するなど注意してください。

3 樹脂モルタルの塗布



- 主剤を骨材中に投入し、骨材と均一になるよう混ぜ合わせます。これを樹脂モルタルとします。

⚠ ママコが残っていたり、混合が不十分な場合、白く発泡したり硬化不良の原因となります。特に冬期気温の低い場合には主剤の粘度が高くなりますのでしっかり混ぜ合わせてください。



鏝に樹脂が付着して塗りにくくなってきたら、灯油を含ませたウエスなどで樹脂を拭き取りながら作業を行ってください。（硬化不良の原因になるのでシンナーは使用できません。）



- この樹脂モルタルを先に塗布したプライマーの上に、素早くレーキ、または金鏝でならします。



- その後、金鏝でよく押さえて表面を密に仕上げます。

※塗り継ぎは、塗りつけた樹脂モルタルが硬化しないうちに行ってください。連続作業ができない場合は、いったん目地で切ります。
※使用後の器具などは、速やかにシンナーで洗浄します。

滑り止め工法

新設時に同時に滑り止め機能をつける場合・・・別途「シュガーペイブ滑り止め材」(別売)の準備をお願いします。

■滑り止め材の使用量

骨材	1袋(25kg)
滑り止め材	1袋(400g)

- 通常の施工通りにプライマーを塗布し、主剤と骨材を混ぜて均一に練り後、「滑り止め材」を混ぜ合わせます。（骨材と同時に練りした場合、均一に混ざらないことがあります。）
- あとは通常の施工通り、「シュガーペイブII」を敷きならします。

シュガーペイブⅡ・洗い出し基材施工要領

洗い出し基材

下地について

- 新設・既設の「シュガーペイブⅡ」に施工してください。
- 下地には2%程度の排水勾配をつけてください。
※下地は完全に乾燥させてください。シュガーペイブⅡの空隙に水がある場合など、下地が湿っていると本品のハガレ、フクレ、白華、強度不足の原因となります。
- 下地のホコリ、ゴミ、レイタンス、油分などは完全に除去してください。
- 「シュガーペイブⅡ」を新設する場合は、「シュガーペイブⅡ」のカタログ・施工要領書を参照して施工してください。また洗い出し工程は、「シュガーペイブⅡ」が完全に硬化・乾燥したのを確認した後にとりかかってください。
- 新設「シュガーペイブⅡ」の養生期間/夏場24時間以上(翌日以降)、冬場48時間以上(中1~2日以上)
- 滑り止め工法を使用している場合は、ゴム鏝でのかき取り、スポンジやウエスなどでの洗い出しができないので施工できません。

施工手順

1 材料の準備

- 容器(錆のないもの)に標準加水量の8割(約1.5ℓ)の水を入れます。 **標準加水量:1.8ℓ/袋**
※材料の特性上、粘度が出にくかったりダマが残る場合がありますので、必ず8割の水量から混練りしてください。
- 「洗い出し基材」を投入し、リシンマザールで十分に混練りします。
- 10分程度練り置きし、残り水(約0.3ℓ)を加えて練り上げます。
※水を加えすぎると色ムラや強度不足の原因となります。
※混練り後の塗材は、徐々に粘度が増してきます。施工時に塗材の粘度が高くなった場合は、加水せずに再度リシンマザールで混合してください。
※混練りした材料は1時間以内に使い切ってください。

2 洗い出し基材の塗布



- ゴム鏝を使用して「シュガーペイブⅡ」に流し込みます。シュガーペイブⅡ内部まで行き渡るように、ゴム鏝で数回叩き込みながら塗布していきます。



- ゴム鏝のヘリを使い、石の表面が現れる程度に余分な材料をかき取ります。
- ①②を繰り返しながら作業を進めていきます。

硬化

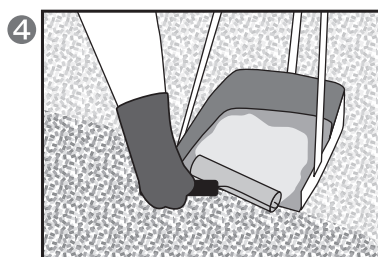


夏期1時間
冬期2時間

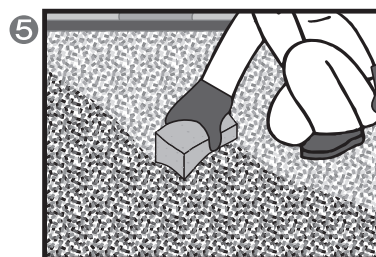
※直射日光下では目安時間より早く硬化します。表面が乾燥し始めた場合は直ちに次の工程を行ってください。



- 少量の水を含ませた左官刷毛などで表面をこすりアマを出します。



- 次に表面のアマをウールローラーで取り除きます。アマはチリトリなどですくい取ってください。



- 残ったアマをスポンジやウエスで完全に拭き取ってください。
- スポンジやウエスに付いたアマは、水で洗浄し、よく絞ってください。
- その後、表面が白く乾燥してきたら、きれいなスポンジやウエスで仕上げ拭きを行ってください。

施工時の注意事項

- 施工後24時間(冬場10℃以下48時間)は立ち入り禁止としてください。また、硬化前に降雨の恐れがある場合には必ず養生を行い、施工面に雨がかからないように注意してください。
- 車の駐車など、重量物の進入には最低3日以上(気温20℃)の養生期間をおいてください。
- 本品と天然石を混ぜるだけでは施工できません。必ず新設・既設の「シュガーペイブⅡ」など天然石透水性舗装材に流し込んで施工してください。

シュガーペイブⅡ施工要領

標準仕様・性能

○シュガーペイブⅡ

内容	1.5㎡舗装用 樹脂セット
主剤	1.25kg/袋
プライマー	0.3kg/缶
施工要領書	1部
骨材	25kg/袋×1袋
梱包数	樹脂セット1ケース+骨材1袋

○シュガーペイブⅡ

試験項目	結果
圧縮強度	14.1N/㎡(143.9kgf/㎡)
曲げ強度	5.8N/㎡(59.2kgf/㎡)
接着強度	2.0N/㎡(20.4kgf/㎡)
促進耐候性	黄変など 異状なし

○洗い出し基材

内容	
洗い出し基材	5,000g/袋×4袋
施工要領書	1部
梱包数	洗い出し基材4袋+施工要領書

○洗い出し基材+シュガーペイブⅡ

試験項目	結果
圧縮強度	21.9N/㎡(223.3kgf/㎡)
曲げ強度	8.5N/㎡(86.7kgf/㎡)
接着強度	2.0N/㎡(20.4kgf/㎡)
促進耐候性	黄変など 異状なし

ご注意

- 主剤には夏用(4月~10月)と冬用(11月~3月)があります。季節に応じて使い分けてください。
- 骨材は天然石のため、ロットにより多少色調の異なる場合があります。
- 壁面(立ち上がり面)には使用できません。
- 長期的には光沢がなくなり、天然石そのものの色になります。
- 天然石には鉄分が含まれるため、錆が出る場合があります。

施工上の注意

- 屋外施工では天候に十分注意し、降雨、強風時の施工は避けてください。
- 気温10℃以上での施工を標準とします。
- 冬期、気温5℃以下での施工は避けてください。
- 夏期は風通しの良い日陰などで保存してください。直射日光下に材料を長期間置くと可使時間が極端に短くなる場合があります。
- 夏期炎天下での施工は、硬化が促進され可使時間が極端に短くなるため、気温の低い日陰からか、早朝、夕方などに施工してください。
- 施工中は、現場付近での火気の使用は避けてください。
- 樹脂が硬化するまでは少々臭気が出ます。室内での施工の場合は、特に換気に注意してください。
- 硬化は夏期一日、冬期二日を目安にしてください。
- 硬化しきらないうちに、雨水などに当たらないようにしてください。(必要に応じ、シートなどで雨養生してください。)
- 樹脂が肌に着着しないようゴム手袋を使用し、万一肌に着着した場合は、石鹸ですぐに洗い流してください。
- 材料は、直射日光・雨水の当たらない一定の場所を定めて保管してください。
- 仕上がりを均一にするため、主剤と骨材の混合前の空合せは十分に行ってください。
- 一旦開封した主剤・プライマーおよび洗い出し基材は、長期保存せず速やかに使い切ってください。
開封したままにしておくと、固まってしまうことがありますのでご注意ください。